

未来創造グループ 研修特別委員会

委員長 岩本 泰秀

委員会運営基本方針

「学ぶ心～体験こそが師なり～」

まちの明るい社会を創るため青年同士が、活動を通じて友情を深めつつ、互いに影響し合い刺激しながらも自己成長を促してくれる機会は、公益社団法人姫路青年会議所にはあります。新入会員がこれから希望に溢れ未来に向かって前進し続けるためには、常に学ぶ心を大切に何事にも前向きに挑戦をし続ける必要があります。

当委員会では、希望を抱いて入会した新入会員が、まずは謙虚に素直な心で、様々な青年会議所活動に参加していただきます。そして、青年会議所運動・活動を通じ、自ら新しい価値観に触れ、広い視野と知識・見識を身につけていただきます。多くの経験を積み重ねることで、ともに未来を創造し、前向きに率先して行動するJAYCEEとしての資質を高めて参ります。また、出会った仲間と切磋琢磨しながらもかけがえのない友情が深まる機会を創出します。

委員会メンバーは、心ひとつに、出会えた仲間に感謝し思いやりを持って、明るく笑顔で一年間邁進していきます。そして、様々な経験から得た気づきや学びから青年経済人としても成長し、苦楽をともにすることで生涯続く友情を育める委員会運営を目指します。

475文字

事業計画

〔目的〕

- 1) 何事にも前向きに行動するJAYCEEとなるため、参加・参画意識の醸成を図る。
- 2) 何事にも前向きに行動するJAYCEEとなるため、基礎的知識の習得・スキルの向上を図る。
- 3) 何事にも前向きに行動するJAYCEEとなるための機会を創出し、仲間との友情を育む。

〔事業〕

- 1) 新入会員に青年会議所会員としての基礎研修の企画・実施
- 2) 2月新入会員歓迎例会の企画・実施
- 3) 模擬事業の企画・実施
- 4) 「全体事業2021（仮称）」に伴う事業への参画
- 5) その他新入会員研修に関する全般
- 6) 積極的な会員拡大活動
- 7) SDGsの推進
- 8) 各種大会への積極参加
- 9) 各事業への積極参加
- 10) 各プログラムへの積極参加

未来創造グループ 未来創造室 未来ビジョン創造委員会

委員長 福原 佑

委員会運営基本方針

「フルスロットル！～伝統を胸に未来を創れ～」

公益社団法人姫路青年会議所は、先輩諸氏から受け継いできたかけがえのない運動と熱き志を継承し、本年65周年の節目を迎えます。明るい豊かな社会の実現を目指して地域課題の解決に取り組んできた我々は、今後も歩みを止めることなく未来のビジョンを掲げ、時代に即した運動に繋げていくことが必要です。

当委員会は、これまでのビジョン検証と現在直面する地域課題の調査を基に、新たなビジョンを策定することで運動の方向性を示し、現役会員一人ひとりが地域の発展のために未来を描く意識を高めます。また、産官学民・他団体へ感謝と敬意を表し、ビジョンを発信することで、信頼関係を一層発展させます。そして記念事業では、我々が市民とともに誰もが輝ける持続可能な姫路の未来を描き、地域課題解決の一翼を担う可能性や希望を感じてもらい、未来のまちづくりへ新たな価値を創造します。

委員会メンバーは、仲間との縁を大切に喜びも悲しみも分かち合い、伝統を受け継ぎ真のリーダーへと成長していきます。ともに汗を流しフルスロットルで駆け抜けることで、仲間を誇りに想い一生涯の家族となる委員会運営を目指します。

475文字

事業計画

〔目的〕

- 1) 公益社団法人姫路青年会議所の未来の方向性を現役会員に共有し、未来を見据えた運動を展開できるよう意識高揚を図る。
- 2) 産官学民・他団体の方々に公益社団法人姫路青年会議所の未来の方向性をご理解いただき、より強固な信頼関係を築く。
- 3) 公益社団法人姫路青年会議所が、誰もが輝ける持続可能な姫路の未来を描き、新たな価値を創造し市民とともに歩みだす一歩とする。

〔事業〕

- 1) 公益社団法人姫路青年会議所運動指針「姫路JC中長期ビジョン2021(仮称)」の策定
- 2) 公益社団法人姫路青年会議所運動指針「姫路JC中長期ビジョン2021(仮称)」の発表・推進
- 3) 「65周年記念事業(仮称)」に伴う事業の企画・実施
- 4) 創立65周年記念式典及び記念パーティの企画・実施
- 5) 「全体事業2021(仮称)」に伴う事業への参画
- 6) その他未来ビジョン創造に関する事業全般
- 7) 積極的な会員拡大活動
- 8) SDGsの推進
- 9) 各種大会への積極参加
- 10) 各事業への積極参加

2021年度 委員会運営基本方針・事業計画

未来創造グループ 未来創造室 次世代リーダー育成委員会

委員長 杉本 拓

委員会運営基本方針

「未来へ輝け！姫路の宝～Positive Thinking～」

近年のグローバル化により個人の価値観やライフスタイルが多様化し、家庭、学校、地域など青少年を取り巻く環境が変化しています。青少年が、地域の次世代を担う人財へと成長し、世界でリーダーシップを発揮するためには、時代の変化に適応可能な、生きる力を身につける必要があります。

当委員会では、青少年が思いやりの心を持って他者と切磋琢磨することで、向上心を持ち自己研鑽の力を身につけます。また、姫路のまちの文化や日本独自の精神性を学び、国境を越えた人々と接し、様々な価値観や文化の違いを感じながら、積極的に協働することで国際感覚を磨きます。そして、何事にも果敢に挑戦し、前向きに物事を捉え、行動力や創造力を発揮できるリーダーとなる礎とします。現役会員は、青少年の育成に携わることに責任と誇りを感じ、青少年が目標を見失わないよう先導者となる意識を醸成します。

委員会メンバーは、覚悟と自覚を持って青少年育成に携わり、心豊かな子どもたちが明るい未来を実現している姿を思い、ポジティブな意見が飛び交う委員会運営を目指し、友情や絆を深め友達以上家族未満の関係を築き上げます。

475文字

事業計画

〔目的〕

- 1) 青少年が主体性を持ち、己を磨く力、伝える力を養う。
- 2) 青少年が活きた国際交流を通じ、豊かな国際感覚を育む。
- 3) 現役会員が多様化する青少年育成の現状を理解し、ともに学び向上しようとする意識を醸成する。

〔事業〕

- 1) 次世代リーダー育成にかかわる事業の企画・実施
- 2) 「全体事業2021（仮称）」に伴う事業の企画・実施
- 3) 7月例会の企画・実施
- 4) JCネットワークを活かした青少年スポーツ事業の実施
- 5) その他次世代リーダー育成に関する事業全般
- 6) 「全体事業2021（仮称）」に伴う事業への参画
- 7) 積極的な会員拡大活動
- 8) SDGsの推進
- 9) 各種大会への積極参加
- 10) 各事業への積極参加

地域開発室 持続可能な姫路のまち創造委員会

委員長 伊賀 陽平

委員会運営基本方針

「フルーツバスケット～誰もが輝く姫路のまち～」

姫路青年会議所は、時代に即した運動を展開することで、姫路のまちに必要とされる組織として成長してきました。昨今、社会全体の大きな変化によって直面している地域の活力低下を打開するために、市民がまちの魅力を理解し、様々な価値観の違いを認め合い、新たな可能性を創出していく必要があります。

当委員会は、これまで連携・協働してきた産官学民・他団体とのネットワークを活かし、姫路のまちの地域資源を最大限に活用し、ひととひとが交流する中で、新たな価値を生み出せる運動を展開して参ります。また、市民が地域の魅力を体感・共有し、価値観を認め合える、様々な性質の枠を超えた共創の意識を高めます。他委員会とともに、姫路のまちの価値をさらに高めていくという想いを共有し、会員同士が一丸となり絆を深め、まちのリーダーとしての意識向上を図ります。

委員会メンバーは、自分の言葉で姫路のまちの魅力を語り、まちの課題に対して率先垂範して運動・活動出来る人財になることを目指します。各々が自身のカラーを出し、共通目標に向かって纏まることで困難も乗り越えられる委員会運営を目指して参ります。

475文字

業計画

〔目的〕

- 1) 公益社団法人姫路青年会議所は、誰もが新たな価値を生み出せる、活力の溢れる姫路のまちを創造する。
- 2) 現役会員は、共通目標に向かって一致団結することにより、絆を深め帰属意識を高める。

〔事業〕

- 1) 「全体事業2021(仮称)」に伴う事業の企画・運営・実施
- 2) 第72回姫路お城まつりでの持続可能な姫路のまち創造に関する事業の企画・実施
- 3) 10月例会の企画・実施
- 4) 全国城下町シンポジウム(津山)への案内・取り纏め
- 5) 西播磨政策室との連携
- 6) 屋台文化保存連絡会との連携
- 7) その他持続可能な姫路のまち創造に関する事業全般
- 8) 積極的な会員拡大活動
- 9) SDGsの推進
- 10) 各種大会への積極参加
- 11) 各事業への積極参加

2021年度 委員会運営基本方針・事業計画

地域開発室 強靱な姫路のまち推進委員会

委員長 宇久 将貴

委員会運営基本方針

「備えを常に～大切な人を守るため～」

姫路市は、気候風土に恵まれているため、市民の防災に対する当事者意識が高いとは言えず、行政発信の防災情報が、市民に行き届かない恐れがあります。防災に対する知識や復興力が求められている中、姫路のまちに住まう人々が安心して生活するために、有事の際に迅速に対応ができるまちづくりの推進が必要です。

現役会員は、市民へ防災啓発することができるよう、まず、自らが行政の発信している防災情報を学びます。また、市民への防災意識向上のため行政や地域との連携・協働を円滑におこない、防災に対する知識を普及・啓発できる場を創造します。そして、自身や家族、さらには地域の人をも「自ら守る」という愛郷心を育むことで、有事の際の対応・対策を常に備え、市民が安心して生活できる、ひととひとのつながりが強固なまちへと推進して参ります。

委員会メンバーは、共助の大切さを認識し防災知識を習得することで、災害に備え柔軟な行動ができるひとへ成長を遂げます。さらに、本気でぶつかり向き合うことで、相手の気持ちや価値観を尊重できる仲間となり、お互いに認め合える一生涯の仲間へと絆を深めます。

475文字

事業計画

〔目的〕

- 1) 公益社団法人姫路青年会議所が、市民と行政・地域との防災ネットワークを円滑に進め、ひととひとのつながりを強固にし、市民同士が助け合える復興力の高いまちへと推進する。
- 2) 現役会員が防災意識を高め、市民とともに復興力の高いまちの担い手としての意識を醸成する。

〔事業〕

- 1) 「全体事業2021（仮称）」に伴う事業の企画・実施
- 2) 4月例会の企画・実施
- 3) 9月例会の企画・実施
- 4) その他強靱な姫路のまち推進に関する事業全般
- 5) 公益社団法人日本青年会議所、近畿地区協議会、兵庫ブロック協議会防災系委員会との連携および推進に関する業務
- 6) 積極的な会員拡大活動
- 7) SDGsの推進
- 8) 各種大会への積極参加
- 9) 各事業への積極参加

2021年度 委員会運営基本方針・事業計画

組織力向上室 会員拡大委員会

委員長 山本 佳男

委員会運営基本方針

「一心不乱～意識をチェンジで、拡大チャンス！～」

姫路青年会議所は、姫路のまちの課題解決に向けた運動を展開し、市民からの信頼を高めてきました。今後も、明るい豊かなまちの発展を見据え、時代の変化に即した運動を行う組織であるためには、会員拡大が必要です。

当委員会では、現役会員に将来を見据えた拡大目標を明確に伝え、会員拡大の重要性を共有する場を創出し、現役会員一丸となった拡大活動を行って参ります。また、我々は拡大目標を達成するために、一人ひとりの意識が変わり行動に移すことで、拡大に繋がると信じて一年間走り抜けます。候補者に対しては、青年会議所には自己成長が出来る多くの機会が存在することを丁寧に伝え、共感を得ることで入会へと導いて参ります。また、現役会員とシニアメンバーのつながりを築く場を創出し、交流を深めることで組織の結束力を高め、会員拡大へのご理解・ご協力をいただける機会へと繋いで参ります。

委員会メンバーは、新たなひととの出会いに感謝し、拡大目標の達成に向けて最高のチームワークをもって積極果敢に取り組みます。そして、一年間を通じて信頼と友情を育み、生涯の同志と呼び合う関係を構築いたします。

(475文字)

事業計画

〔目的〕

- 1) 公益社団法人姫路青年会議所が持続可能な運動を展開するために、一人でも多くの候補者を入会へと導く。
- 2) 現役会員へ将来を見据えた拡大の重要性を伝え、拡大活動を一丸となって取り組み、結束力を高め組織力の向上を図る。
- 3) シニアメンバーとのつながりを深め、公益社団法人姫路青年会議所の結束力を高める。

〔事業〕

- 1) 会員拡大活動に関する事業の企画・実施
- 2) 3月例会の企画・実施
- 3) その他会員拡大に関する事業の実施
- 4) LOM一丸となった会員拡大活動の推進
- 5) 候補者情報の収集と管理
- 6) 入会説明会に関する事業の企画・実施
- 7) 仮入会・入会申込書の取り纏め
- 8) 仮会員オリエンテーションに関する事業の企画・実施
- 9) 「全体事業2021（仮称）」に伴う事業への参画
- 10) シニアメンバー及びシニアクラブへの対応
- 11) シニアメンバーとの交流事業の実施
- 12) SDGsの推進
- 13) 各種大会への積極参加
- 14) 各事業への積極参加

組織力向上室 JC運動発信委員会

委員長 大塚 兼史

委員会運営基本方針

「タグリ寄せて！倍発信だ！」

姫路青年会議所は創立65周年という節目を迎え、明るい豊かな社会の実現に向けて同じ志を持つ仲間が様々な運動を展開し発信して参りました。今後も地域の発展を願う運動を効果的に発信し、組織の存在価値を高め多くの人々に共感していただき、事業への参加・参画へと繋げていくことが必要です。

当委員会は各メディアや各種団体と連携し青年会議所運動・活動を時代に即した情報ツールを駆使しターゲットを明確にして受け手目線に立ち情報の発信を行い、我々の無限の可能性に共感していただき、さらなる運動の発展に繋げて参ります。そして、各委員会の想いを汲み取った運動・活動を発信し、多くの人々に関心を持っていただき、相手の心を掴むことで参加・参画意識を高めて参ります。また、出向者の勇姿を現役会員内で共有することで現役会員の活動意欲を高め、組織の持続的な発展に繋げて参ります。

委員会運営では、組織の縁の下での力持ちとして運動・活動に誇りと愛着を持ち、委員会メンバーに寄り添い支え合い、より一層の情報を発信していきます。また、委員会が一丸となり積極的に行動し未来永劫の絆を深めて参ります。

475文字

事業計画

〔目的〕

- 1) 公益社団法人姫路青年会議所の運動を対外へ発信し、認知度を高め、参加・参画意識向上に繋げ組織の存在価値を高める。
- 2) 公益社団法人姫路青年会議所の運動・活動を対内に発信し、現役会員の帰属意識を高めより多くの事業に参加・参画することで組織の活性化を図る。

〔事業〕

- 1) ウェブシステム・SNSを活用した運動発信ツールの運用・管理
- 2) 公益社団法人姫路青年会議所活動の取材・記録・管理
- 3) メディアを活用した公益社団法人姫路青年会議所の運動・活動発信の推進
- 4) 創立65周年記念誌の作成・配布
- 5) 8月例会の企画・実施
- 6) 「全体事業2021（仮称）」に伴う事業への企画・実施
- 7) 出向者への支援
- 8) 京都会議への案内・取り纏め・LOMナイトの設営
- 9) サマーコンファレンスへの案内・取り纏め・LOMナイトの設営
- 10) 全国大会（宇都宮）への案内・取り纏め・LOMナイトの設営
- 11) 兵庫ブロック大会（丹波）への案内・取り纏め
- 12) 近畿地区大会（彦根）への案内・取り纏め
- 13) 公益社団法人日本青年会議所、近畿地区協議会、兵庫ブロック協議会の事業・運動の推進に関する業務
- 14) その他広報に関する事業全般
- 15) 積極的な会員拡大活動
- 16) SDGsの推進
- 17) 各種大会への積極参加
- 18) 各事業への積極参加

2021年度 委員会運営基本方針・事業計画

総務室 渉外交流委員会

委員長 川中 紳司

委員会運営基本方針

「愛さんまい～受け継ぐ想い！紡ぐ絆！～」

姫路青年会議所は、65年にわたり先輩諸氏らが伝統を受け継ぎ、絆を紡いでこられ、地域に影響のある組織として発展して参りました。今後も多くの方から青年会議所運動・活動に共感をいただき、組織が発展していくためには、伝統を大切にしながらも時代に即した交流やおもてなしを通じ強い絆を紡いでいく必要があります。

当委員会では、先輩諸氏から永年受け継がれてきた想いを感じ、感謝と決意を伝える機会を創出することで絆を紡いで参ります。来姫される各地会員会議所会員へは心に寄り添うおもてなしにより友好を育みます。現役会員は互いに思いやり、想いを共有しながら青年会議所運動・活動に取り組むことで積極的な参加・参画意識の向上を図り、結束力を高めます。そして様々な方との共感の輪を拓くことで、持続可能な愛に満ちた組織の発展へと繋げます。

委員会メンバーは伝統を受け継ぎ、絆を紡ぐ責任と誇りを持ち、新たな時代へ止まることなく挑戦することで周囲の方との共感を生んでいただきます。互いに手を握り合いながら取り組むことで愛にあふれる J A Y C E E として成長出来る委員会運営を目指します。

475文字

事業計画

〔目的〕

- 1) 現役会員とシニアメンバーとの強い絆を紡ぎ、組織の発展に繋げる。
- 2) 公益社団法人姫路青年会議所会員は各地会員会議所会員との愛を持ったおもてなしにより会員同士の友好を育む。
- 3) 現役会員同士の強固な信頼関係を築き積極的な参加・参画意識の向上を図り、持続可能な組織の発展に繋げる。

〔事業〕

- 1) 1月新年祝賀例会の企画・実施
- 2) 6月創立例会の企画・実施
- 3) 12月忘年例会の企画・実施
- 4) 一般社団法人唐津青年会議所との交流
- 5) 一般社団法人唐津青年会議所との姉妹締結55周年記念式典の実施
- 6) 濠江青年商會との交流
- 7) 濠江青年商會との姉妹締結30周年記念式典の実施
- 8) 創立65周年記念式典及び記念パーティへの参画
- 9) J C I A S P A C (台中)での案内・取り纏め
- 10) J C I 世界会議 (ヨハネスブルグ)での案内・取り纏め
- 11) シニアメンバー及びシニアクラブへの対応
- 12) シニアメンバーとの交流
- 13) 来姫者への渉外業務などその他渉外交流に関する事業全般
- 14) 「全体事業2021 (仮称)」に伴う事業への参画
- 15) 積極的な会員拡大活動
- 16) S D G s の推進
- 17) 各種大会への積極参加
- 18) 各事業への積極参加

総務室 総務委員会

委員長 神畑 浩子

委員会運営基本方針

「清く、正しく、しなやかに」

公益社団法人姫路青年会議所は、県下25青年会議所で唯一の公益法人として公益性の高い事業を実施し、地域に貢献する組織として発展してきました。さらに魅力ある組織になるためには、伝統やこれまで積み上げてきたつながりを継承しながら、時代の流れに柔軟に対応し、規則に則り充実した会議運営を行う必要があります。

当委員会は、定款・諸規定・諸規則に則り各委員会との連携を積極的に図ることで、総会・理事会を円滑に運営します。また常に委員会一丸となり丁寧かつ真摯に各委員会と向き合うことで、現役会員の規則への理解を深め、よりルールが浸透した強固な組織へと繋げていきます。さらに、現役会員にとって学びの機会である各種大会や各事業についての情報を周知し参加・参画を推進します。そして、経験を得ることで現役会員の意識を高揚させ、組織の活性化を図ります。

私たちは、何事にも清らかな心を持ち立ち向かい、率先して規則やマナーを厳守する正しさ、そして相手を思いやるしなやかさを持ち担いに取り組みます。その過程で協力し挑戦し続けることで、互いを尊敬し合える揺るぎない信頼関係を築きます。

475文字

事業計画

〔目的〕

- 1) 公益社団法人姫路青年会議所の運動・活動が、定款・諸規定・諸規則に則するかを検証し、総会・理事会を適正かつ円滑に運営する。
- 2) 公益社団法人姫路青年会議所の持続的な発展へと繋げるため、組織の活性化を図る。

〔事業〕

- 1) 総会・理事会の企画・運営
- 2) 各委員会予算・決算の管理
- 3) 理事会上程資料における財政審査・規則審査・公益性審査・コンプライアンス審査の実施
- 4) データファイリングシステム・デジタルアーカイブの運用管理
- 5) 会員名簿・基本資料の作成
- 6) JCコミュニケーションシステムの運用・管理
- 7) 理事研修の企画・実施
- 8) 副委員長・幹事研修の企画実施
- 9) 11月卒業例会の企画・実施
- 10) その他総務に関する事業全般
- 11) 公益社団法人日本青年会議所褒賞事業へのエントリー
- 12) LOM内褒賞の実施
- 13) 卒業記念品の選定・卒業証書の作成
- 14) 兵庫ブロック協議会公式訪問役員懇談会の設営
- 15) 入会面接の設営・実施
- 16) 公益法人格による資料作成及び兵庫県庁への届出
- 17) 公益法人格による調査・研究
- 18) 「全体事業2021（仮称）」に伴う事業への参画
- 19) 積極的な会員拡大活動
- 20) SDGsの推進
- 21) 来姫者に対しての会議設営
- 22) 各種大会への積極参加
- 23) 各事業への積極参加